

会議名	第7回新城地域協議会		公開
日時	令和3年3月10日(水) 午後7時00分～午後8時00分	場所	市役所本庁舎4階 会議室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、伊藤めぐみ、清水利高、加藤賢一、加藤尚代、 太田芳伸、高木猛至、酒向雅子、本田廣美、今泉訓行、後藤幸子、 鈴木雅晴、浅岡勝、石黒謙治、夏目工、今泉栄、布施エミ子、 大橋さよ子		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長、宮本主査 新城自治振興事務所：笹田所長、川合主任		
欠席者	浅田昌弘、坂巻克彦、藤村信芳	傍聴者	なし
配布資料	次第、令和2年度地域自治区予算事業の執行状況について、令和3年度新城地域自治区地域活動交付金事業募集チラシ、こども見守りボランティア募集チラシ		

議題・議事・発言等（要点記録）

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名（今泉訓行委員、後藤幸子委員、鈴木雅晴委員）</p> <p>2 議事 (1) 令和3年度への引継ぎ事項について 事務局より資料に沿って説明した。その後、新型コロナウイルスの影響を受けて実施できなかったこども見守り事業のうちこども110番のお店と、公園マップ作成事業については、令和3年度の地域自治区予算事業を実施した後の残額で事業実施が可能であれば令和3年度中に実施すること、できない場合は令和4年度の地域自治区予算事業として実施するよう来年度に引き継ぐとして全会一致で決定された。 その後会長より、委員全員からこの1年間を振り返ってみて、思ったことや引継ぎ事項等について意見をもとめた。</p> <p>主な意見 (委員) コロナの影響を受け事業実施ができなかった1年間であった。 (委員) 地域協議会では最初の意見が出にくいこともあり、自分が率先して意見を言うように心がけていた。できるだけ会議の中ではみなさんから多くの発言をしていただけるよう期待したい。 (委員) 交付金事業を実施して、多くの人に喜んでいただけてよかった。 (委員) より多くの若い世代の人たちに委員になっていただけるといいと思う。 (委員) コロナ禍の今だからこそできることもある。今年は自主防災会で防災機材の一斉点検を行った。この他にもコロナ禍だからこそできることなどを工夫していくことが必要だと思う。 (委員) 地域計画の4つのテーマについて意見の集約がされているが、地域住民に地域計画の進捗状況をフィードバックしていくことが大事なのではないか。</p>

- (委員) コロナ禍で時間ができたこともあり、桜橋の近辺を綺麗に掃き掃除をするようになった。大変な作業もあるが、キレイになると自分の心も洗われるような、清々しい気持ちになる。地域協議会委員でなければ、行政に言うだけで終わっていたと思うが、やはり自分でできることは、少しでもやっつけていこうかなという気持ちになった。こういうことを一つ一つ積み重ねてやっつけていけば、よりよい街ができるんじゃないかと思う。私が掃除してる姿を見かけた方が、ご苦労様ですなど、たくさん声をかけていただけて励みになった。これから春になって、桜の花が咲くときにまた、皆さんが桜淵に来ていただいて、キレイな公園を楽しんでいただければいいと思う。来年度も地域協議会委員として体を動かして活動をしていきたいと思う。
- (委員) 地域活動交付金を活用して事業を実施しているが、参加者が固定化していると感じる。より多くの新たな参加者に集まってもらえる工夫が必要。
- (委員) 地域協議会にも女性の委員が必要。地域活動交付金について、コロナ禍だからこそ人々の心が豊かになるような芸術的文化的活動を感染対策を行いながら実施することが大事だと思う。また普段交流のない人と交流をするような事業ができるといいと思う。交付金はそういったソフト事業を実施していただければよい、各地区で働きかけていってほしい。
- (委員) 国連でも言われている SDGs に基づく持続可能な開発目標が重要と思う。来年度もコロナが完全に無くなって昔のように戻れるとは限らない。今後も様々な計画が出てくる中で、新たな形で継続するということも一緒に考えていく必要があると思う。今年度はコロナで会議も少なく残念だったが、ここに集まる皆さんの意見をお聞きし、地域のことを真剣に考えていただいていると感じた。
- (委員) 地域の人と人との繋がりを大切にする活動が大事だなと思っている。コロナ禍での制限の中でどのような活動ができるのか、今後の課題と思う。
- (委員) AED は様々な施設に整備されていると思うが、防犯カメラが少ないと感じている。防犯協会の役員も務めていることもあり、防犯の取り組みとして地域住民の生活のために整備が必要と思っている。登下校の子どもたちを守るためにも、学校以外で地域にも防犯カメラの設置が必要と感じた。
- (委員) 地域活動交付金事業を活用して新たな事業が実施できるように呼びかけた。
- (委員) お年寄りの方の安否確認を行うようになった。
- (委員) 1年目で色々と勉強させていただいた。色々なことに協力できたらと思う。

3 その他

事務局からこども見守り事業への登録及び周知の呼び掛けと令和3年度の地域活動交付金事業の周知を依頼した。